

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイSES吉田校				公表日 令和7年 11月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		利用人数に対し十分なスペースとなっている。活動内容に応じてテーブル等の配置を移動し、適切な空間としている。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		指定基準人員数の職員が配置されている。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		子ども達がわかりやすく、生活をしやすい室内環境となっている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		日々の清掃・整理整頓を行い、子ども達の意識にも繋がる環境としている。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		相談室や支援室以外の場を必要に応じていつでも使用は可能となっている。	支援室内に個別の空間が必要となる場合は空間設置を検討。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		各々の職員が業務への目標を持ち、業務終了時に活動内容と共に、自身の振り返りをおこなっている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員全体会が評価を把握し、業務改善につなげている。保護者の方が遠慮なく評価をしていただけるよう、関係性を大切にしている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員間で話をする時間を多く持ち、各々が意見を多く伝えられている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		今年度、第三者評価をおこなっていない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月法人内研修をおこない資質、意識の向上につなげている。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		法人内で支援プログラムを作成し共有している。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		ニーズや課題をふまえて段階を考えた計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		モニタリングや都度の職員会議、話し合いの場で検討を行い、計画案、計画書の作成となつ	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画に沿った支援が行えるよう、職員への共通理解の確認、丁寧な説明を心掛けている。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		法人内で標準化されたツールを使用し、定期的に目を通し把握、確認を行っている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		主に本人支援となるがガイドラインに沿った支援設定をし、5領域の支援を行っている。家族支援・地域支援等は状況、相談に応じながら事業所で出来る範囲でおこなっている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員間の時間を有効に使いながらプログラムの立案をおこなっている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		各々の児童の特性を考え、活動内容を検討し考え、工夫をしている。	

供 應	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		各々の特性、状況に応じて職員が対応できるよう支援内容、過ごし方を考えている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		全職員で当日の活動内容や担当、配置を考え支援に入っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		当日の振り返りを全体で行うことで児童の行動・様子、職員の対応の把握を行い、翌日の支援につなげている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		当日担当配置に入った職員が行動観察記録をとることで、振り返り時にしっかりと確認できる状態になっている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングをおこない、必要に応じて計画の見直しを行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		日々の活動の中に自立支援・制作活動・地域活動・余暇活動を取り入れて。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		一緒に考えることや選択をしてもらう等でその子に合わせた支援方法の工夫を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管が会議に出席しているが、必要に応じて児童指導員も同席をしている。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		関係機関と共有、連携した支援を行えている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		各学校との関係性も良好であり、情報・連絡の共有ができている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		利用開始前には発達支援事業所にて移行会議をおこない、情報共有が出来ている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		移行支援会議の参加やご連絡、ご相談をいただいた際にはご家族の承諾のもと提供をしている。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	地域の子ども部会等で担当の方とお会いする機会が隔月である為、必要に応じてご相談が出来ている。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		5		今年度は交流を持つことはなく事業所環境で過ごしているが、子ども部会内で交流の機会を検討している。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		管理者が参加している。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		毎日引き渡し時に当日の様子をお伝えする。家庭での様子もお聞きし、お互いに共有し対応に入っている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		研修の情報提供や事業所での取り組み、経過、対応方法を参考にしていただけるようにしている。	
支援者	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		事業所説明会や見学、契約時にご説明をさせていただいている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		利用開始前に担当者会議、アセスメント、聞き取りをし、確認をおこなえている。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		計画書(案)のご説明をしながら内容の確認をしていただき、同意を得てから署名をいただいている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者様からいつでも相談をしていただける関係作りとご要望による面談を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		現在保護者会を開催していない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情受付窓口、解決責任者が適切に対応ができる体制を整え、職員間の周知、対応をおこなっている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	不定期ではあるがHPの更新や通信の発行をし、行事予定の案内や日頃の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		全職員に遵守し徹底をしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		特性理解と共にコミュニケーションの配慮をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	事業所単体の行事に招待する機会は現在ないが、毎年開催している法人の作品展(自事業所参加)のご案内をさせていただいている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		保護者様には契約時にご説明、職員にはマニュアルの確認、把握を都度おこなう。定期的に訓練を実施。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		業務継続計画をもとに緊急時、災害時の確認、備え、定期的な訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメント時に確認をし、職員対応の周知ができている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		5	アセスメント時に確認、職員周知ができる。現在食物アレルギーのある利用者なし。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		法人内研修参加、マニュアル等の確認をおこない安全管理に努めている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時や定期的に保護者様に周知をしていただけるようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		事業所内、法人全体で共有をし、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		法人内、外の研修参加や定期的にチェックリストの記入を行い、意識をしっかりと持続している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		法人内でマニュアル・同意書の共有をし対策はとれている。今までに身体拘束は行っていない為、計画への記載はない。	